



省略

■沖縄修学旅行へ行ってきました～その2～



民泊受け入れ家庭との対面に向かいます



歓迎の踊り 山手台中生も一緒に踊ります



民泊受け入れ家庭との対面



民泊受け入れ家庭との対面



民泊受け入れ家庭へ向かいます



民泊にワクワク・ドキドキ

修学旅行の初日は、平和祈念公園での平和セレモニーに続いて、ひめゆり学徒隊コースと鉄血勤皇隊コースに分かれて、資料館やガマの見学などを行いました。その後、バスに乗って民泊の入村式会場へ向かいました。普段の旅行ではホテルや旅館に泊まったことがあっても、民泊（農村や漁村の一般家庭）の経験は初めての人がほとんどです。各家庭で家族と一緒に晩御飯をつくって食べたり、沖縄の文化や歴史に触れる機会をつくったりしていただけるようです。また、民泊の間中はすべて家庭に任せるため生徒との面会は原則できません。1泊2日の民泊ですが、生徒の皆さんが貴重な体験ができることを楽しみにです。（5月8日 金曜日）

■中間考査が行われます

新年度がスタートし、気が付けばあっという間に1月が過ぎています。2・3年生は5月18日から中間考査が行われます。一つ一つの考査に対して最後まで諦めずに全力で取り組んで欲しいと思います。

【定期考査受験時の注意】

①最初に「組・出席番号・名前」を書こう

校内の定期考査ではありません入学試験でも受験番号や名前を書き忘れると大変なことになります。何事も普段からの心掛けが大切です。

②試験問題全体に目を向けよう

問題用紙を眺め、どの問題が解けそうで、どの問題が難しいのを見極めたうえで、確実に解ける問題から取り組んでいきましょう。限られた時間で行われるので、時間配分を考えて取り組むことが大切です。

③「見直し」を一度はしよう

例えば、数学の問題で計算問題を解いたとします。一度だけ計算して、その答えを書いて終わるのではなく、もう一度計算しなおして間違いがないか確認することが大切です。プラスマイナスの間違いなど、後から見直しておけばよかったのに…と後悔しても取り返しがつきません。

④「正々堂々」と臨もう

定期考査の受け方について約束をしっかりと守って正々堂々と受験しよう。試験監督の先生の指示にしたがって決して不正行為がないようにしてください。

⑤定期考査は「答案が返却された際の対応」が大切

答案が返却される際、点数が気になると思います。60点より70点、80点より90点が良いの違いはありませんが、単に点数に一喜一憂するのではなく、間違えた問題を確実に解けるようにすることが大切です。その小さな積み重ねが3年後に大きな力となっていきます。

最後まで諦めずに全力で取り組んでいきましょう。皆さんにとって大きな成果があることを心から期待しています。